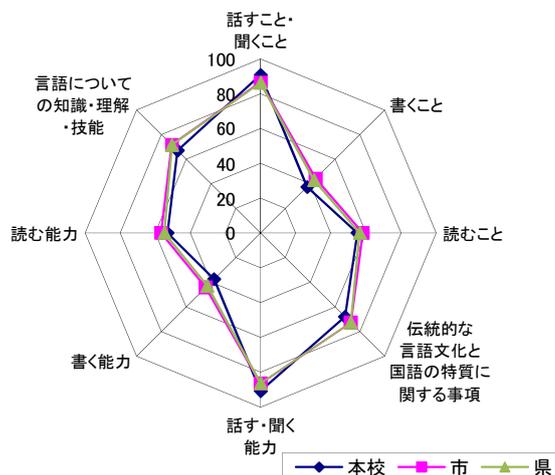


宇都宮市立海道小学校 第4学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	90.8	86.5	86.3
	書くこと	37.5	44.3	43.0
	読むこと	55.2	58.2	56.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.0	72.7	72.7
観点	話す・聞く能力	90.8	86.5	86.3
	書く能力	37.5	44.3	43.0
	読む能力	53.1	56.7	54.9
	言語についての知識・理解・技能	66.9	71.6	71.5



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○領域別の正答率は90.8%で、県平均を4.5ポイント上回る。 ○話の中心に気を付けて聞く問題の正答率は96.6%で、県平均を7.6ポイント上回る。	・授業だけでなく、朝の会・帰りの会や学級活動での話し合い活動等で話をしっかりと聞き取らせる指導を継続して行っていく。その際、話を聞く姿勢や態度等基本的なことも継続して指導していく。また、個々への指導を行っていく。 ・国語の授業以外でも話をする機会を増やし、相手に分かりやすく話すことや、相手の話を最後まで真剣に聞くことを指導している。
書くこと	●領域別の正答率は37.5%で、県平均を5.5ポイント下回る。 ○書くこととすることの中心を明確にし記述する問題の正答率は48.3%で、県平均を5.9ポイント上回る。 ●目的に応じて必要なことを調べる問題、お礼の手紙を適切な順序と言葉づかいに書き直す問題の正答率は31.0%、15.5%で、県平均を13.1ポイント、9.7ポイント下回る。	・必要なこと、要点を意識させるようにし、調べたり分かりやすくまとめたりできるように指導していく。 ・国語の授業以外でも招待状やお礼の手紙を書かせる作業シートを活用して学習させることにより意識化を図っていく。
読むこと	●領域別の正答率は55.2%で、県平均を1.2ポイント下回る。 ○目的や必要に応じて、中心となる語や文をとらえる問題の正答率は62.1%で、県平均を11.9ポイント上回る。 ●叙述を基に、場面の移り変わりを読む問題、登場人物の気持ちを想像して読む問題の設問の正答率は31.0%、65.5%で、県平均を8.9ポイント、9.8ポイント下回る。	・時間、場所等、キーワードを押さえ、読みを深められるように指導していく。また、登場人物の行動や様子を押さえ、常に気持ちを想像して読む訓練をしながら、想像力を付けていくよう指導する。 ・読書を習慣化し、読解力が付くようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●領域別の正答率は68.0%で、県平均を4.7ポイント下回る。 ●漢字の読みの問題の平均正答率は75.0%で、県平均を7.2ポイント下回る。 ●反対の言葉の意味、主語と述語など言葉の学習の問題の正答率は52.6%で、県平均を10.9ポイント下回っている。	・市で行っている学力アップシートや毎日の家庭学習を徹底して行うことにより向上を図る。 ・朝の学習を活用して、定期的に漢字の書き取りテストを実施し、その定着を図る。 ・新しい漢字を学習する際に、教科書で取り上げられる言葉以外の熟語や使い方を指導し、語彙を増やせるようにする。 ・主語・述語、対義語を意識させるような問題を日常で取り上げ、繰り返し指導し、定着を図る。